



2025年 5 月29日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー  
代 表 者 名 代表取締役社長 工藤 智昭  
(コード番号：6562 東証グロース)  
問 合 せ 先 上級執行役員(CFO)兼 菊川 淳  
投資戦略部部長  
(TEL. 03-5909-8177)

### グループ会社JAPAN AI株式会社がデータ間の関係性を理解する高精度RAG技術を開発

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「当社」）のグループ会社であるJAPAN AI株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「JAPAN AI」）は、データ間の関連性を理解し、高精度な検索・回答を実現する最新のRAG技術を開発いたしました。本技術により、企業内の複雑な情報構造を把握し、より正確かつ文脈に即した回答の提供が可能となります。

#### 1. 背景

従来の RAG や検索技術では、ユーザーが社内検索を行う際、AI はキーワードを抽出して個別の情報を検索するだけであり、情報同士の関連性を十分に理解することが困難でした。そのため、断片的なデータしか取得できず、正確な回答を生成することが難しいという課題がありました。

#### 2. 概要

JAPAN AI が開発した RAG 技術は、データ構造を分類し、関係性を理解することで、従来の検索技術では困難であった「データ同士の関連性」を理解したデータ検索を可能にします。データの属性を適切に分類し、それぞれの関連性を構造化して保持することで、検索精度を大幅に向上させています。

これにより、単純な構造化では表現できない複雑なデータの定義や検索が可能となり、不正確な情報生成を抑制し、データ処理精度・検索精度・回答精度のすべてにおいて、従来技術と比較して高い性能を実現いたしました。

具体的には、企業の組織構造を考慮した社内問い合わせ対応、製品間の関連性を活用した情報検索、文書間の参照関係の理解と活用、業務フローに基づく適切な回答生成、人事情報の関連付けによる総合的な検索など、高度な回答生成が可能となります。

今後も最新の RAG 技術への迅速な対応を行い、常に最先端の技術を提供できる体制を整えてまいります。また、既存技術の研究と応用も並行して進め、より多様な企業ニーズに対応できるよう、継続的な技術発展に努めてまいります。

### 3. JAPAN AI について

JAPAN AI は「企業が1社に一つオリジナルのAIを持つ時代を創る。AIは働く人をサポートし、圧倒的な生産性を実現する。」というビジョンを掲げ、最新のAI技術を活用したプロダクトやサービス提供を通じて、多様な業界での事業拡大や産業の発展に貢献していきます。

URL : <https://japan-ai.co.jp/>

### 4. 今後の見通し

本件による、当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。